



Kanmon Entertainment

重要文化財・門司港駅でのオペラティックコンサート

企画・主催・プロデュース：牟田裕

Romantic Opera Night

港町浪漫コンサート

2023年 10月1日(日) 開演 17時半 (途中休憩なし)

会場：JR九州 門司港駅

※雨天時：展示スペース

Photo by Michiyo Ueno



《予定曲目》星は光りぬ (プッチーニ「トスカ」、宝石の歌 (グノー「ファウスト」、唇を閉ざして (オペレッタ「メリーウィドウ) など



牟田裕 Baritone



松浦美穂 Soprano



荒田砂代子 Soprano



森岡謙一 Tenor



浜田嘉生 BassBaritone

ピアニスト/ 吉松理恵 Piano 古木雅士 Piano

※コンサート会場に運営協賛箱を設置させていただきます。継続開催への皆様のお心をお願い致します。

共催：関門エンターテイメント北九州実行委員会 後援：北九州市、北九州市教育委員会、下関市、下関市教育委員会

ご協賛：株式会社 洋建築計画事務所、和菓子なごし、展望レストラン 陽のあたる場所、株式会社 新星社、ほか

お問い合わせ： 関門エンターテイメント TEL. 080-1740-9243

《歌手プロフィール》

牟田裕(バリトン) 企画・主催・プロデュース

様々なジャンルの音楽を融合したクロスオーバーシンガーとして活動。ソロ・コンサート「牟田裕コンサート」を定期的開催し、好評を得る。「関門海峡合唱団」創設、オリジナル曲の作成も手がける。関門の歴史を音楽劇で上演するため、門司に実在した「僧清虚」の物語を取り上げプロデュース・劇中歌制作・劇場用脚本制作、演出、劇中では利三郎役で出演。バリトンとして、メロッティ作曲「電話」ベン役、林光作曲「あまみじやくとどりこひめ」殿さん役、メロッティ作曲「泥棒とオールドミス」ポブ役、レハール作曲「メリーウイドウ」サンブリオッシュ役などに出演。港町オペラ座、関門エンターテイメント創設。

荒田砂代子(ソプラノ)

九州女子短期大学音楽科卒業後、イタリアにて研鑽を積む。Fiorella Prandini、Giorgio Lormi、Susanna Rigacci、菊池由美、森岡謙一の各氏に師事。第56回西日本国際音楽コンクール・スウェーデン名誉領事賞。第9回藤井清水音楽コンクール優秀賞。これまで、「愛の妙薬」アディーナ、「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、「ゴジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ、「奥様女中」セルピーナ、など多数のオペラに出演。東京、九州、山口など各地で演奏活動を展開。北九州シティオペラ会員。北九州音楽協会会員。関門海峡合唱団ミュージックディレクター、指揮、編曲を担当。

松浦美穂(ソプラノ)

武庫川女子大学 音楽学部 声楽学科卒業。声楽を、中原 智子、恵智 文子、故A.バランドーニ各氏に師事。

卒業後、音楽教室講師として指導に携わる一方、ソロ、アンサンブル、バンドサポートなどの演奏活動をする。

2007年下関に帰郷。下関音楽人の会会員。

森岡謙一(テノール)

ウィーンコンセルバトリウムオペラ科卒業。ウィーン国立歌劇場研究所に入所。アイネムの「老婦人の訪問」の医師役で、ウィーン国立歌劇場デビュー。

日本大使館主催のコンサート、インターナショナルオペラガラコンサートを始め、テレビ、ラジオ等に出演。その後イタリアのミラノに移り、コンサートに多数出演。帰国後は地元北九州に戻り、数多くのオペラでプリモを演ずるほか、第九、メサイア等のソリストとして数多く出演。又地元の音楽文化の発展のため、音楽の広場 PAM の設立、北九州シティオペラの創設に関わる。北九州市民文化奨励賞受賞。北九州市文化大使。北九州音楽協会常任理事。北九州市の若い芸術家を育む会 PADRONINI 副理事長。北九州ミュージックシアター・みらい理事長。

浜田嘉生(バスバリトン)

武蔵野音楽大学声楽学科卒業後、長門美保歌劇団、東京室内オペラ協会、東京オペラ協会等の公演にバスプッフォの役を中心に出演。平成元年に山口に移り、HIOSや北九州シティオペラ、広島シティオペラ等の公演でジャンニ・スキッキ、コッリーネ、ドゥルカマーラ、ライモンド、エジプト王、ティムール等の役を演じる。平成12年、山口県初のオペラ団体「山口室内オペラ工房」を設立、主催公演で演出・主演を務める。山口室内オペラ工房代表。

協賛募集 《お振込み先》 西日本シティ銀行門司支店 口座番号 3076912
関門エンターテイメント 代表 牟田裕 カンモンエンターテイメント ダイヒョウ ムタユウ
協賛企業・個人協賛 募集 / 関門エンターテイメント TEL.080-1740-9243 まで



コンサートご協賛：株式会社 洋建築計画事務所、展望レストラン陽のあたる場所、和菓子なごし、株式会社 新星社、LADIES' SHOP よしざき、三光寺、馳走や 和楽

〈日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～〉

門司港地区は、江戸時代まで塩田と半農半漁の静かな村でしたが、1889(明治22)年の九州鉄道開通に伴い、門司駅(門司港駅)が設置され(開業は1891(明治24)年)、陸上と海上運輸の集散地としてにぎわうようになります。

現在の門司港駅舎は1914(大正3)年に二代目の門司駅として新築されたもので、1942(昭和17)年に関門鉄道トンネルの開通に伴い門司港駅と改称して現在に至ります。1988(昭和63)年に国重要文化財に指定され、現役の駅舎として、東京駅と並ぶ貴重な歴史的建造物です。日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」は、幕末から昭和にかけて国際貿易港として発展し、現在は映画のワンシーンに紛れ込んだようなノスタルジックな街並みが残された関門海峡沿岸のストーリーです。門司港駅も登場するこの物語を兩岸をめぐりながら楽しんでみませんか？



南部町郵便局と秋田商会



JR 門司港駅 (写真提供: 関門海峡日本遺産協議会)

日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」

詳細はこちらから！→

